

令和5年度 第1回地方税における資産課税のあり方に関する調査研究委員会  
《 議事要旨 》

1. 日 時 令和5年6月28日（水） 15：00～17：00

2 場 所 評価センター会議室（※Zoom参加併用）

3 出席者

委員：佐藤委員長、漆委員、神山委員、篠原委員、前田委員、森委員、横山委員、米田委員、  
渡辺委員、齊藤委員、野崎委員、北畑委員、宮崎委員、藤田委員代理、天利委員  
総務省：固定資産税課課長補佐、資産評価室長、固定資産鑑定官  
評価センター：理事長、調査研究部長、調査研究部次長

4 議題

- (1) 令和5年度調査研究テーマ・スケジュール
- (2) 住登外者に対する適切な課税のあり方
- (3) その他

5 審議内容

- (1) 総務省から令和5年度開催要綱(案)に基づいて、調査研究テーマ・スケジュールについて説明があり、委員の承認を得た。
- (2)
  - ① 総務省から資料4に基づいて、住登外者に対する課税について説明があった。
  - ② 自治体委員（齊藤委員、野崎委員、北畑委員、宮崎委員）から各団体における住登外者に対する課税の現状について説明があった。
  - ③ ①②の説明を受け、質疑応答が行われた。
- (3)
  - ① 総務省から資料9に基づいて、小規模自治体等における地方税事務の課題と事務の共同化等について説明があった。
  - ② 総務省から資料10に基づいて、人口減少社会を迎えた我が国の固定資産税収の動向等について説明があった。
  - ③ ①②については、次回の委員会で検討を深めるので、そのための質疑、意見陳述があった。